

議会だより



9月の
定例会

2 令和元年度決算
総額282億円の成果を認定

10 ズバリ!!町政を問う
4議員が質問

6 こんなことが決まりました
8月臨時会・9月定例会

20 全員協議会
町の重点事業について徹底議論!



富岡町議会の
ホームページはこちら

もっと高く!もっともっと高く!／にこにこども園

令和元年度 決算

総額282億円の成果を認定!

【一般会計 223億円、特別会計59億円 合計 282億円】



【引き続き適切な予算要求、前例に囚われない柔軟な創意工夫を求める】 坂本代表監査委員の審査意見

令和元年度決算は、約282億円の決算規模となっているが、総体的には概ね適切に事務処理が行われたものと判断する。予算編成にあたっては、明確な事業計画に基づく精密な予算見積もりによる予算計上、情勢の変化にともなう更正や追加を適宜行い、安易かつ過大な予算要求は厳に慎むとともに、予算主義の原則を厳守し、適切な予算要求を行い、予算執行にあたっては、引き続き前例に囚われない柔軟な創意工夫により、地方自治法の趣旨である最小の経費で最大の効果をあげるよう努めて頂きたい。



令和2年9月定例会は9月15日から17日まで3日間の会期で開催しました。条例の改正案件や人事案件、工事請負契約の締結及び変更案件、令和元年度決算認定、令和2年度補正予算など、29件の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問では4議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方についていただきました。

【防災備蓄倉庫整備】



防災事務諸経費 4億6080万円
(委託料・工事請負費等)

【JR夜ノ森駅整備】



東日本旅客鉄道株式会社負担金 3億6180万円
全体事業費12億8867万円中の令和元年度支出分

【敬老会開催】



敬老会事業費 2099万円
(敬老会・敬老祝金支給事業費)

【桜まつり開催】



桜まつり事業費 1835万円
(委託料他)

【富岡産業団地整備】



工業団地事業費 7億1489万円
全体工事費:40億4238万円中の令和元年度支出分

【アーカイブ施設整備】



アーカイブ施設整備事業費 2億5923万円
全体工事費(概算)19億9889万円中の令和元年度支出分

Pick Up!

【移動図書館車両購入】



図書館事業費 5781万円
(図書購入費・車両購入費・司書派遣委託料等)

【営農再開支援】

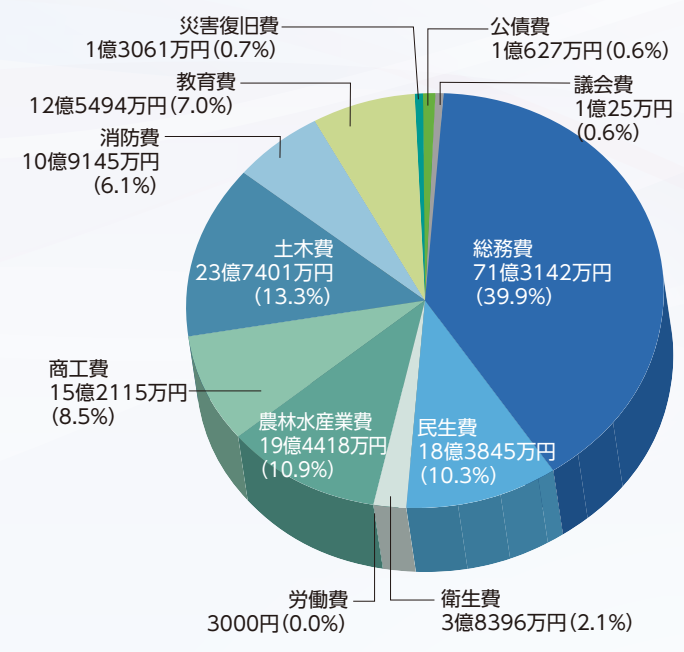


営農再開支援事業費 2億3324万円
(営農再開支援事業補助金他)

歳出(支出)の主なもの

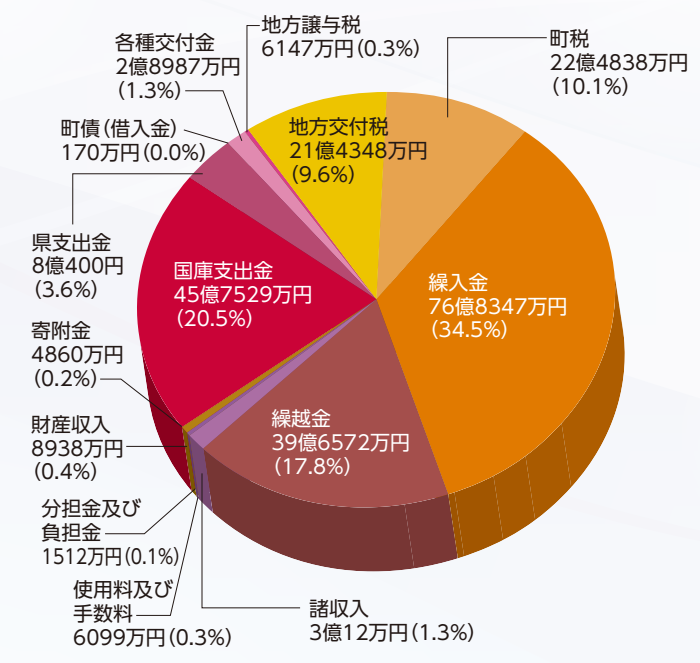
- 総務費 (一般的な管理に要する経費、徴税费や選挙費なども含まれる。)
 - 71億3142万円
- 民生費 (町民が一定水準の生活と安定した社会生活を送るために必要な経費)
 - 18億3845万円
 - ・ 社会福祉費 13億6393万円
 - ・ 児童福祉費 2億9383万円
 - ・ 災害救助費 1億8069万円
- 衛生費 (町民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費)
 - 3億8396万円
 - ・ 保健衛生費 2億2675万円
 - ・ 清掃費 1億4594万円
 - ・ 上水道費 1127万円
- 農林水産業費 (農林水産業の振興に要する経費)
 - 19億4418万円
 - ・ 農業費 18億9365万円
 - ・ 林業費 4917万円
 - ・ 水産業費 136万円
- 商工費 (商工業の振興に要する経費)
 - 15億2115万円

歳出(支出) 178億7669万円



- 土木費 (道路、公営住宅等の建設、維持管理に要する経費)
 - 23億7401万円
- 消防費 (防犯防火に要する経費)
 - 10億9145万円
- 教育費 (教育に要する経費)
 - 12億5494万円
- 公債費 (町の借金返済に要する経費)
 - 1億627万円

歳入(収入) 222億8759万円



- 地方譲与税 (国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金)
 - 6147万円
- 各種交付金
 - 2億8987万円
- 地方交付税 (税収不足を補うために国から配分されたお金。財源は所得税や法人税などの国税の一部)
 - 21億4348万円

歳入(収入)の主なもの

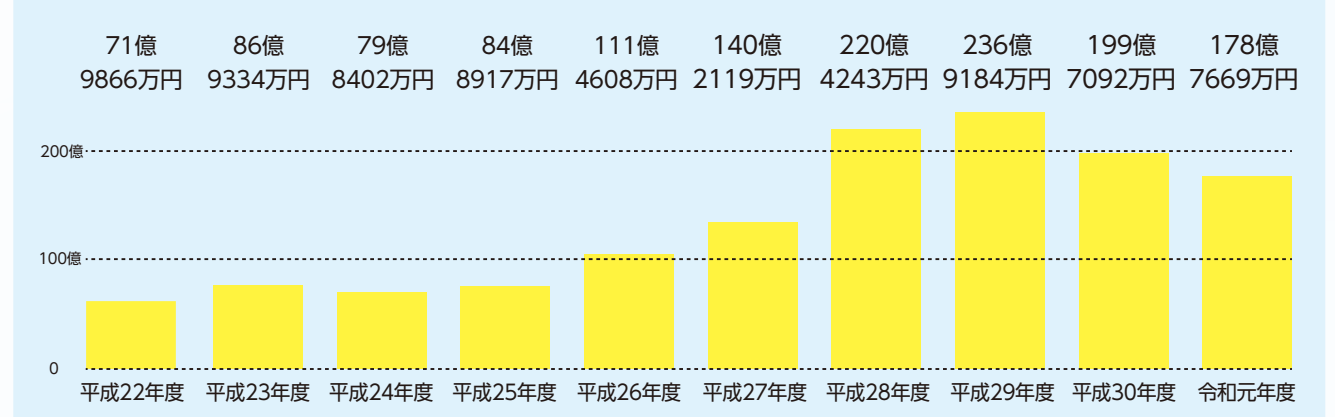
- 町税 (皆さんが町に納めた税金)
 - 22億4838万円
 - ・ 町民税 8億9145万円
 - ・ 固定資産税 12億6109万円
 - ・ 軽自動車税 2217万円
 - ・ 町たばこ税 7367万円
- 繰入金 (収入の不足を補うために、基金(貯金)等から取り崩したお金)
 - 76億8347万円
 - ・ 特別会計繰入金 1478万円
 - ・ 基金繰入金 76億6869万円
- 繰越金 (前年度から繰り越されたお金)
 - 39億6572万円
- 諸収入 (雑入など、その他の収入)
 - 3億12万円
- 使用料及び手数料 (住民票などの手数料収入)
 - 6099万円
- 国庫・県支出金 (特定の目的のために国や県から交付されたお金)
 - 53億7929万円
 - ・ 国庫支出金 45億7529万円
 - ・ 県支出金 8億400万円

【令和元年度一般会計及び特別会計決算を全会一致で認定】

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険事業	蛇谷須特環下水道事業	公共下水道事業	農業集落排水事業
歳入	222億8759万円	58億6826万円	27億3029万円	1442万円	7億3021万円	1億4536万円
歳出	178億7669万円	54億1308万円	25億4380万円	985万円	6億7706万円	1億3814万円
歳入歳出比較	44億1090万円	4億5518万円	1億8649万円	457万円	5315万円	722万円

会計区分	特別会計				合計
	曲田土地区画整理事業	介護保険事業	後期高齢者医療事業	介護サービス事業	
歳入	3億794万円	18億8187万円	5060万円	757万円	281億5585万円
歳出	2億8727万円	17億342万円	4739万円	615万円	232億8977万円
歳入歳出比較	2067万円	1億7845万円	321万円	142万円	48億6608万円

【震災前の平成22年度から令和元年度までの一般会計歳出決算の推移】



議員が切り込む!! 質疑応答

【8月臨時会】
曲田都市計画街路整備

問 町道部の完成が年度内と
 いうことだが、供用開始時期
 の目標は。(堀本典明)

答 都市整備課長
 県道すり付け部の調整を
 実施しており、県とも年度内の完
 成を目指すということまで一致し
 ています。来年度早々には供用
 開始できるように進めます。

【6月定例会】
舞台照明更新工事

問 震災の影響を受けたこと
 による更新が、また、今後の設
 備更新の予定は。(安藤止純)

答 生涯学習課長
 震災関連の修繕は平成29年
 度に実施済みであり老朽化や生
 産終了等に係る更新となりま
 す。
 メーカーの更新推奨時期を
 参考に、随時各設備の更新を
 実施予定です。

令和2年第6回臨時会で審議した議案とその結果

上程議案・概要	結果
◆工事請負契約	
議案第59号 工事請負契約について 曲田都市計画街路4号線整備工事の請負契約の締結について	全員賛成 原案可決

令和2年第7回9月定例会で審議した議案とその結果

上程議案・概要	結果
◆人事案件	
議案第60号 富岡町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (富岡町教育委員会委員の任期満了に伴う再任について議会の同意を求める) <P.6>	全員賛成 同意
◆条例の一部改正	
議案第61号 富岡町電源立地地域対策交付金公共施設整備基金条例の一部を改正する条例 (福島第二原子力発電所廃炉に伴う原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金を積み立てる為)	全員賛成 原案可決
議案第62号 富岡町公共施設維持運営基金条例の一部を改正する条例 (福島第二原子力発電所廃炉に伴う原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金を積み立てる為)	全員賛成 原案可決
議案第63号 富岡町電源立地地域対策交付金公共施設維持基金条例の一部を改正する条例 (福島第二原子力発電所廃炉に伴う原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金を積み立てる為)	全員賛成 原案可決
議案第64号 富岡町交通災害共済等に関する条例の一部を改正する条例について (関係法令の改廃及び富岡町児童館の廃止に伴う改正)	全員賛成 原案可決
◆条例の廃止	
議案第65号 富岡町公設地方卸売市場条例を廃止する条例について (卸売市場法及び福島県卸売市場条例の改廃等に伴う廃止)	全員賛成 原案可決
◆字区域の変更及び画定	
議案第66号 字区域の変更及び画定について (富岡都市計画事業曲田土地区画整理事業に伴い、字の区域の変更及び画定をしようとするもの)	賛成多数 原案可決 (討論なし)
◆工事請負契約	
議案第67号 工事請負契約について 富岡町文化交流センター舞台照明設備更新工事の請負契約の締結について <P.6>	全員賛成 原案可決
◆工事請負契約の変更	
議案第68号 工事請負契約の変更について 富岡町カントリーエレベーター敷地造成工事に係る工事請負契約の一部変更について <P.6>	全員賛成 原案可決

こんなことが決まりました!



【学びの森舞台照明設備更新】
 富岡町文化交流センター舞台照明
 設備更新工事の請負契約について、
 可決しました。
 (9月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和3年3月25日まで
- 契約金額 8943万円
- 工事概要
 調光基盤と付帯設備の更新と、
 LEDライトへの対応に係る専用コ
 ネクタ、電源供給用コンセントの
 増設等
- 契約相手方
 仙台市青葉区五橋1-6-2
 株式会社 松村電機製作所 東北支店

関係機材生産終了により更新される調光設備

【富岡駅前道路整備は最終工程へ】
 曲田都市計画街路4号線整備工事
 の請負契約について、可決しました。
 (8月臨時会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和3年3月30日まで
- 契約金額 1億3530万円
- 工事概要
 道路新設改良事業であり、JR富岡
 駅南側跨線橋の一部、施行延長
 340mの道路築造工、道路舗装工等
- 契約相手方
 富岡町大字本岡字王塚332-3
 株式会社 高葉建設

駅前にごわいにごわい都市計画街路4号線

人事案件

**教育委員に
 大和田 勲さんを再任**

教育委員の任期満了に
 伴い、現教育委員である
 大和田 勲さんを再任す
 ることに同意しました。
 任期は、令和2年10月
 1日からの3年間です。
 (9月定例会)
 賛成9票・反対0票

【ご挨拶】
 町内での学校が再開され、児童生徒
 の数も少しずつ増えています。今後は学
 校の統合も予定されており、新しい教
 育環境を整備する重要な時期と、身の
 引き締まる思いです。
 一期目の経験を生かし、引き続き教育
 環境の充実を力尽くしてまいります。

大和田 勲さん

【カントリーエレベーター工期延長】
 富岡町カントリーエレベーター敷
 地造成工事の契約金額の変更及び工
 期の延長について、可決しました。
 (9月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

- 工 期 令和2年11月30日
 までを
 令和3年2月26日
 に変更
- 契約金額
 (変更前) 8737万3000円
 (変更後) 9496万1900円
- 変更理由
 敷地造成工事において、造成計画
 勾配の変更、上水道計画及び防火
 水槽計画位置等を変更し、下水道
 工事による資材変更、交通誘導員
 増による契約金額増額及び開発許
 可申請、新型コロナウイルスの影響
 により工期を延伸するもの

工事変更契約

一般会計 補正予算

基金積立・新型コロナ対策による増額 《17億7633万円を増額補正》

町勢振興基金積立及び新型コロナウイルス対策による環境整備等による増額計上により17億7633万円の増額補正を行い、総額222億5619万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
新生児特別定額給付金事業費(通信運搬費・給付金)	1006万円増
システム管理運営費(テレワーク・リモート会議等環境整備費)	5886万円増
町勢振興基金積立金	20億22万円増
道路新設改良事業費(東日本旅客鉄道株式会社負担金)	2563万円減
曲田土地区画整理事業特別会計繰出金	1917万円減
公共下水道事業特別会計繰出金(蛇谷須地区特環下水道事業含む)	6700万円減
富岡町内防火防犯パトロール事業費(委託料)	1億3788万円減
小・中学校教育用コンピュータ整備事業費(ネットワーク整備・PC等賃借料)	972万円増
体育施設管理費(指定管理委託料)	7328万円減
その他	2043万円増



答 総務課長
精査し、東京電力としっかり協議し合意にむけて対応します。

問 賠償金も大事な財源であることから、引き続きしっかりと協議願う。(佐藤教宏)

答 総務課長
本年度収入している賠償金については、平成24年度〜27年度分の応急仮設住宅修繕費、維持管理費及び図書館システムの賃借料です。実績に基づき補正したものです。

問 原子力事故損害賠償金の内訳について示せ。(佐藤教宏)

答 教育総務課長
解体中の第二中学校施設内で水漏れが発生し、北側町道の水道管入れ替え工事が必要になったものです。

答 都市整備課長
流量が増え活性汚泥が育つような維持管理及びコスト削減に努めます。

問 どのように管理しているのか。水質保全への努力を願う。(渡辺三男)

答 都市整備課長
5月時点で12軒の使用が確認されています。

問 蛇谷須地区の下水道について、現在何軒程度の使用実績となっているか。(渡辺三男)

答 教育総務課長
解体中の第二中学校施設内で水漏れが発生し、北側町道の水道管入れ替え工事が必要になったものです。

問 中学校施設に係る工費内訳について示せ。(佐藤教宏)

富岡産業団地・防災備蓄倉庫を視察 現状を確認!!



令和2年9月16日、決算認定に伴う現地調査を実施しました。調査実施箇所は、富岡産業団地と防災備蓄倉庫(拠点倉庫)です。



先行供用開始区画を視察

【富岡産業団地整備事業】

- 工期：平成30年12月17日から令和3年3月19日迄
※第1期供用開始 令和2年4月1日から
- 工事費：全体工事費 40億4237万5420円
(令和元年度支出額 7億1489万円)
- 工事請負者：宮城県仙台市青葉区大町二丁目8番33号
西松建設株式会社 北日本支社
- 工事の概要：総面積 約33.7ha 工場用地面積 22.2ha
特例産業団地に指定されている産業団地です。
企業立地に関する様々な補助制度を有し、町の新たな産業創出の拠点として期待されています。
(令和3年4月1日全面供用開始予定)

質問



- Q 産業団地敷地内に信号機を設置するような検討は。(佐藤啓憲議員)
- A 警察、公安委員会と協議した上で付けない方がよいという判断にいたりしました。(都市整備課)
- Q 敷地内公園の利用対象者及び活用方法についての考えは。(渡辺正道議員)
- A 原則として産業団地内の緑地という位置付けであり、団地内で勤務する方や周辺住民の方が利用できる健康遊具、ランニングコース等を設置予定です。
町の防災上の避難所として位置付けはしていませんが、事業者へは各事業者の一時避難所としての案内をしています。(都市整備課)

【防災備蓄倉庫整備事業】※拠点・北部・南部の3施設

- 工期：令和元年7月26日から令和2年3月26日迄
- 工事費：4億4120万8900円(3施設合算)
- 工事請負者：①拠点倉庫：桂建設株式会社
②北部倉庫：丸川建設株式会社
③南部倉庫：株式会社 倉伸
- 施設概要：災害時に必要となる食糧や飲料水、避難所運営の資機材を保管するための倉庫であり、拠点倉庫については町内3箇所に整備した防災備蓄倉庫のうち最大規模の施設であり、関係機関からの支援物資の搬入出の役割も有しています。



災害時の拠点倉庫を視察

質問



- Q 備蓄品について、保存期間限度まで備蓄し、一斉に交換時期を迎えるようなことにならないか。(安藤正純議員)
- A 備蓄品については、町内の居住人口を見定めながら、段階的に確保し、一斉に交換時期を迎えることのないよう対応します。(生活環境課)
- Q 入口のシャッターは非常時電源喪失した際でも開閉は可能か。(佐藤啓憲議員)
- A 開閉は原則手動で行います。万が一の場合は防火水槽からの水圧で開閉できるシステムも備えています。(生活環境課)



佐藤 啓憲 議員

問 国際教育研究拠点誘致について

答 意向調査に向け、町の優位性を整理

問 国際教育研究拠点の誘致について、今後の定住促進と交流人口増加のため「全町挙げて取り組むべき」と考えるが、誘致に向けた現在の検討状況は。

答 町長 これまで親交を深めてきた各大学等と意見を交わしつつ、研究拠点のあるべき姿について考えを深めながら、県が実施する意向調査に向けて「地理的・歴史的背景等の優位性」を整理し、準備を進めています。

問 研究を通じた人づくり、新しい発想を持った優秀な人材をどのように確保していくか、地元企業としても期待が高いと思う。町民の意見を取り入れてみては。

答 企画課長 先般、町民有志との勉強会を開催したところで、勉強会において、自治体の特徴・住民の思い・地域発展の可能性等、報告いただいた様々な意見を参考に今後も検討を進めていきます。

問 今後の町の教育機能充実について、研究拠点の強みを生かした中・高等教育構想をどのように考えているのか。

答 教育長 これまで小中学校三春校、富岡校共に大学生との交流を実施しております。教育研究拠点の誘致により更なるキャリア育成の可能性に期待しつつ、力を入れていきます。



問 ふるさと納税について現状は、返礼品の無い寄付のみとしているが、今後の産業拡大と地場産品利用促進として、返礼品制度を活用してはどうか。

答 町長 ふるさと納税寄付金を年平均で41件、655万円の寄付をいただいています。本年度はスクールバスの購入や夜の森桜並木の保全などに充当させていただきます。

問 ふるさと納税に返礼品の活用を生産品PRのため運用を開始する

答 町長 帰町開始より4年目を迎え、町内での農産物栽培面積も徐々に増加しています。今後、返礼品の設定により地場産品の消費拡大と当町PRの観点から町観光協会等と連携し、運用開始を目指し努めます。



問 部所を超えて横断的に取り組む役場内部の組織体制を構築する必要があると考えるが。

答 総務課長 体制は総務課を窓口とし、返礼品の研究・検討は産業振興課、企画課、税の控除等で税務課と引き続き横断的な取り組みをしていきます。



毛萱スクリーニング場

答 町長 条件に沿う適地を洗い出しながら、利用者の安全・安心と利便性向上のため国と協議を進めます。

問 町政懇談会において帰還困難区域退域後にスクリーニングをしていない車両が解除区域を通過することについて不安の声が寄せられている。利便性向上も含め毛萱スクリーニング場を夜の森近辺に移転してはどうか。

答 利便性向上の為、国と協議する

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!! 町政を問う



4議員が質問

9月定例会の一般質問に4議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。



1 佐藤 啓憲 議員 11

- 国際教育研究拠点誘致について
- ふるさと納税に返礼品の活用を
- スクリーニング場の移転検討を



2 堀本 典明 議員 12

- 新たな復興再生拠点として早期に除染、解体を
- 長期にわたる防草対策に補助を



3 渡辺 三男 議員 13

- 農地除染完了後の土地利用計画は
- 国際教育研究拠点誘致への取組みは



4 遠藤 一善 議員 14

- 特定復興拠点の避難指示解除工程は
- 放課後子ども預かり施設の改善を



宮本町長 一般町政報告

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



渡辺 三男 議員

問 農地除染完了後の土地利用計画は

答 将来の営農再開を見据えた事業展開を



答 町長 農地の再荒廃防止の観点から新夜ノ森・川田地区農業復興組合が保全管理を開始しています。新規担い手確保・育成事業を最大限活用し、農業法人の参入促進を図るなど、将来の営農再開を見据えた事業を展開します。

問 国道6号線西側の特定復興再生拠点区域内の農地について、耕作放棄地が出ないような仕組みづくりが必要だと考えるが町の考えは。

問 国道6号線東側について、除染後に農地へ戻すのではなく、関係者間調整の上、造成し工業用地とすれば利用価値の高い場所になると考えるが。

問 国道6号線の東側は現在、仮置場として環境省で使用しており、農地に戻す前に利活用の議論を深めることが必要だと考えるが、町の考えは。

答 町長 拠点区域外の土地利用は沿道型商業活性化ゾーンと農用地活用ゾーンに位置付けており、提案の工業用地も有効な再生手段の一つと考えます。

答 企画課長 土地の再生は大きな問題であり、契約の面からは農地への原状回復は当然のことだと考えています。しかしながら、今後の土地利用については議論が尽くされていない状況の為、引き続き検討を進めます。



今後の利活用が課題となる拠点区域外の仮置場

問 誘致できた際に大規模な用地が必要になると考える。その候補地をどこに設定するのか、どのように考えているのか。

答 町長 研究拠点に関する様々な情報収集、県や大学等との意見交換を実施するなど、広域的な視点をもって、積極的に迎え入れるための準備を進めています。

問 避難指示が出ている地域への立地を基本に生活環境、交通アクセスを考え選定すると報道されているが、当町への誘致に際し、どのような取組みをしているのか。

答 企画課長 場所の選定については、国際教育研究拠点の全容が明らかになっておらず各自自治体が様々な規模感で検討を進めている状況です。町としては、交通アクセスやインフラの整備状況等大小数か所の候補地を検討しています。



問 新たな復興再生拠点として早期に除染、解体を

答 町全体の発展に向けた重要課題と認識



堀本 典明 議員

問 拠点区域外にある既存の町道、県道を利用し、散歩やランニング、サイクリング等を安全に楽しめるよう整備計画し、新たな復興再生拠点として早期に除染、解体を。

答 町長 拠点区域外の早期再生もまた将来を見据えた土地の有効活用については、町全体の発展に向けた重要課題と認識しており、今後検討を進めます。

問 拠点外の地域10キロぐらいのコースを検討した。単純な工事費だけでもかなり高額になると考える。用地購入、獣害の対策、交通安全対策なども入れば、



方針の決まらない復興再生拠点区域外(帰還困難区域)

答 企画課長 今年3月に作成いたしましたアクションプランに変わりはありません。単独費で賄うには費用対効果はどうなのだろうか、検討が進んでいる健康増進センターと絡めた、ランナーズステーションでランニング、サイクリングのスタート場所にするといい検討状況に変わりはないか。

問 町全域に波及効果のある事業計画を検討すべき。除染で出た土壌の仮置場として町のために協力した地域であり、しっかりと除染後解除して復興できるように尽くしてほしい。検討状況等に進捗があった場合速やかに情報共有を。

答 企画課長 拠点区域外における一番主要になるのは広野小高線ですが、方針が明確に出ていないということがあり、県に対して要望しています。提案の点についても、県には伝え



問 長期にわたる防草対策に補助を 効果等を見極めながら負担の可否についても検討

問 家屋解体が進み、宅地の維持管理に課題がある。除草剤の配布等対応をしているが、個人での対応にも限界がある。防草シートの設置等長期にわたる防草対策に補助を行い、個人負担を軽減することで、防犯、防火、町内の美観につながるかと考えるが。

答 町長 長期にわたる防草対策については、今後その効果等を見極めながら、負担の可否についても検討します。



家屋解体後の宅地に雑草が繁茂

問 荒れている宅地が多い状況では、移住、定住にも支障をきたすと考える。避難指示が出て除染、解体が進んでいる地域で同じような状況があると思うので、連携して課題として取り上げて模索してほしい。

答 生活環境課長 避難指示が出た町村は同じような問題を抱えていると認識しています。課題をしっかりと各町村で共有しながら今後対策を練っていきます。

問 国際教育研究拠点誘致への取組みは 答 積極的に迎え入れる為の準備を進めている

新型コロナウイルス感染症に対する 富岡町議会の対応について

新型コロナウイルス感染症に関する議長あいさつ

長期にわたり、新型コロナウイルス感染症対策及びその治療等に日々、ご尽力いただいている保健・医療関係者の方々や、感染症の拡大防止にご協力をいただいている町民の皆さま、事業者の方々に、心より御礼を申し上げます。

全国的に感染者数が増加する中、去る9月9日には、町内においても1名の感染者が確認されました。富岡町議会としましては、可能な限り「感染しない、拡大させない」との強い想いから、「3密を避けること」、「身体的距離の確保」、「手洗い・消毒の励行」、「マスクの着用」など、自らの感染防止と感染拡大防止のための行動を徹底しているところであります。

また、議員全員と協議の場を設け、富岡町議会として主催する不特定多数の方々との接触可能性がある研修や行事について、今年度については原則参加・開催を見送る旨決定したところであります。

引き続き、町執行部と緊密に連携を図りながら、町民の皆さまの生命と生活を守るため、全力で活動してまいりますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

富岡町議会 議長 高橋 実



【町内居住者の感染報告を受け、町執行部と意見交換を実施しました】

○令和2年9月11日(金)開催

○概要：①町執行部からの状況説明及び情報提供を受けました。

②議会から執行部へ感染拡大防止対策の為、個人情報へ配慮しつつ、県からのより詳細な情報提供を求めるよう要望しました。

富岡町議会では下記の対応を実施しています。



①議会議事堂の座席数を制限し、身体的距離を確保しています。傍聴可能な人数は25名迄となっておりますので、皆さまのご理解をお願いいたします。



②議会議事堂入口に消毒液を設置、手指消毒を徹底しています。

※傍聴席入口にも消毒液を設置しております。



③議長席・演台・質問席にアクリル板を設置し、飛沫飛散対策をしています。

※パネル設置席においては、マスクを外しての発言を許可しております。各休議の際にアルコール消毒液による拭きとりも実施しています。



【富岡町議会からの傍聴に関してのお願い】

議会傍聴に際しましては、マスクの着用、体温測定、手指消毒の徹底等ご協力をお願いいたします。体調が悪い場合の傍聴はご遠慮ください。

問 特定復興拠点の避難指示解除工程は

答 令和4年春の準備宿泊開始が理想



遠藤 一善 議員

問 特定復興再生拠点区域は、令和5年春の避難指示解除を目指し解体、除染が進められており、現在の除染の進捗状況からみると、避難指示解除の前倒しが可能と考えるが、避難指示解除に向けた今後の具体的な工程は。

答 町長 避難指示解除に向けては、除染や建物解体の進捗や放射線量の推移を見極めることが大前提となりますが、避難指示解除の約1年前となる令和4年春には準備宿泊を開始することが理想であると考えています。



除染が進む特定復興再生拠点区域

問 特定復興再生拠点以外の避難指示解除に向け、解体・除染を町及び地元業者が積極的に関わることで、一日も早い除染の着手を目指すべきでは。

答 企画課長 立入り規制緩和は、現在国と協議を進めていますが、

問 準備宿泊の開始前に立入り緩和が必要と考えるが、町はどのように考えているのか。



バス出発まで教室で過ごす小学生

答 町長 除染作業を熟知した地元企業が積極的に関わることによって地域に寄り添った丁寧な除染、さらには地元企業の育成・地域経済の発展が期待されることから、今後も国との協議を進めます。

問 今後の人口増を考慮していくとき、「国際教育研究拠点に関する最終取りまとめ」に、「研究者の夫婦がそれぞれ働ける生活環境を整える必要がある」とあり、若手研究者やその家族はもとより、町内で働く若い世代を受け入れるためには、放課後児童クラブ等の子ども預かり施設が必要では。

答 教育長 放課後児童クラブ等の子ども預かり施設は、研究拠点関係者のみならず、現在の在校生や今後移住してくる方々においても必要となる施設であると認識しており、今後その体制・内容の充実に取り組めます。

問 放課後子ども預かり施設の改善を

答 体制及び内容の充実に取り組む

問 放課後児童クラブは、現在どのような形で運営されているのか。

答 教育総務課長 学校の余裕教室を用いて預かりを実施しており、小学生がスクールバスの出発時間まで支援員や図書館司書などと過ごしています。

問 学校とは別な場所に、震災前の児童館機能を持つ施設が必要になってくると思いますが、学校外の子ども預かり施設の考えは。

答 総務課長 子どもたちが増えていくば施設の可能性も出てくると思いますが、これまでの過程の中で、今ある施設をどう運用し、利用していくのか、全庁を挙げて検討を進めます。

※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜ 町営王塚団地の道路側竹藪の早期伐採を ＞

Q 王塚団地周辺の除草等は実施されたが、道路沿いの竹藪が残されたままであるため、早期の対応を求める。

A 竹藪の敷地が県の所有となっており、対応を依頼しているが、予算等の関係で遅延しています。引き続き早期対応を申し入れます。

【総務課】



未対応の道路沿いの竹藪

＜ 業者選定根拠資料の公表を ＞

Q プロポーザル方式による業者選定の内容が分かりにくい為、プロセスやどのような理由で選定したか必要な情報を公表していただきたい。

A 各提案の最終的な点数や批評、評価を事業者名は伏せた形で公表は可能であり、対応するよう、各課へ指導します。

【総務課】

＜ 郡山支所の移転に伴い、町民の交流の場確保を願う ＞

Q 郡山に居住する住民の交流、集会の場の確保が求められている。支所移転に伴い物件の確保等の検討を願う。

A 移転先でのスペースの確保は困難であり、市内の物件情報を集めているものの、現実的には非常に困難な状況です。意見、要望等を伺いながら今後の課題として様々検討します。

【総務課】



今年度末で移転予定の郡山支所

＜ 避難所等へ再エネ設備導入検討を ＞

Q 昨今の大規模な自然災害発生時の対策として、公共用施設、避難所等への再エネ設備導入が有効と考える。スケジュールや目標などの提示を。

A 再エネ設備等導入に係るエネルギービジョンを今年度内に策定予定です。避難所等への再エネ設備導入可能性調査も年度内策定を目標に進めていきます。

【企画課】

＜ 公平な滞納処分の実施と、建物解体後の宅地特例制度延長を ＞

Q 税の公平性を考え、差し押さえ等の滞納処分を実施すべきと考えるが。

A 県の事業を活用し支援を受け、滞納処分等への対処方法や情報提供を受けています。引き続き自主的な納税を促しつつ、悪質な場合は差し押さえの実施も検討しています。

Q 令和3年度をもって建物解体後宅地の固定資産税優遇の特例制度が終了することから、避難を続ける町民の負担が増す。救済措置の検討や、特例措置の延長を要望すべき。

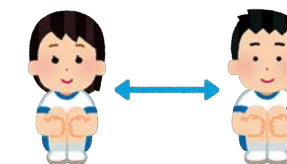
A 特例制度の延長について町村会で国へ要望を実施しています。引き続き対応を要望していきます。

【税務課】

＜ 学校での新型コロナウイルス対策について ＞

Q 熱中症対策との両立が大変だと思うが、体育の授業や空調関係等の取り組みは。

A 体育は運動中はマスクを外し、密にならないように授業を実施しています。空調についても全教室冷房を完備しており、換気をしながら対策しています。こども園についても普段の遊びからなるべく離れ、プール等も2班体制にするなど工夫しています。



【教育総務課】

＜ 合宿センター整備、慎重な検討を望む ＞

Q 解体が完了した合宿センターだが、人口や利用者数等を踏まえれば新たに整備するのは難しいと考えるが、今後どうするか、方向性や思いは。

A 建設費、維持費等も膨大となるため、当面は施設利用者への宿泊費補助を継続し、拡充等検討しつつ、整備については慎重に検討していきます。

【生涯学習課】



解体され更地となった旧合宿センター

- 議会事務局
- 出納室
- 生涯学習課
- 教育総務課
- 住民課
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 所管課

※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜ 都市計画事業、昨年度の成果を今後どう生かすか ＞

Q 昨年度実施した都市計画事業を今年度の事業にどのように生かしていくのか。

A 昨年度は用途地域検討業務を委託し、基礎調査、土地利用状況調査を実施しました。今年度はそれらの情報を元に上位計画となる都市計画の検討を進め、どのように土地利用の誘導を図るかを検討します。
【都市整備課】

＜ 豪雨による道路冠水対策を ＞

Q 豪雨により警察署付近の道路が冠水する場合がある。生活道路であり、町民から不安の声が聞こえるが対策は出来ないのか。

A その部分のみ対処しても全体的な飲み込みで対応が困難な状況です。現状では豪雨時は事前に職員等配置し誘導するような対策しかなく、全体的な道路設計の見直しをする際に考慮します。
【都市整備課】



＜ 多くの交流を生み出す共生型サポートセンターへ ＞

Q 特別養護老人ホームの利用者家族以外の子どもなどが利用した場合に目的外使用とならないか、様々な利用者を想定した施設整備となっているのか。

A 現在整備が進んでいる地域交流館との連携もありますが、この施設の利用に際しても様々な方々に利用いただきたいと検討しています。授乳室等も整備し、簡単な遊具等の設置は今後検討します。福祉避難所としての活用や、イベントの実施など、多くの世代の交流の場として活用できるよう検討します。
【福祉課】



多世代間の交流の場へ(共生型サポートセンター整備イメージ図)



＜ 食品の放射線量検査、種類による特徴は ＞

Q 検査された野菜で基準値越えは見受けられないが、種類等で特徴や傾向があるのか。

A 畑で収穫される時期的な野菜では基準値越えはありません。山菜やキノコ類については未だ基準値を超えるものが多いです。
【健康づくり課】

＜ 継続的、効果的な鳥獣対策を望む ＞

Q 前年比で鳥獣被害が減少し、町内においても屋間イノシシを見かける件数が減っていると感じる。油断するとまた増加が懸念されるが今後の対策について示せ。

A 現状、数は減っていないと考えます。ある程度住み分けができてきたとの認識であり、引き続き電気柵の貸出し等広く案内します。

Q 富岡川の藪に入っていくイノシシの姿を見かけるが、その対策をどのように考えているか。

A 川沿いが住処となっていることから、今後河川を所管する福島県と協議の場を設けます。
【産業振興課】



適切な管理が求められる富岡川の河川敷

＜ 花いっぱい運動、積極的な参加促進対策を ＞

Q 昨年度、春秋各1回ずつ2回実施の予定が春のみの1回となった。既存の行政区頼みではなく参加者を増やしていく施策が必要と考えるが。

A 行政区に未加入の方に新たに行政区に入ってもらい、また関係団体や事業者にも声かけをして、周知していきます。
【生活環境課】



いっそうの賑わいが求められる花いっぱい運動



- 生活環境課
- 産業振興課
- 農業委員会
- 健康づくり課
- 福祉課
- 都市整備課
- 郡山支所
- いわき支所
- 【所管課】

【令和2年9月8日開催】

富岡町里山再生モデル事業の状況報告と里山再生事業について

(復興庁・林野庁・福島県)



1) 里山再生モデル事業結果

① 除染(平成29年～平成30年度実施)

グリーンフィールド内の3.4haと周辺遊歩道両側概ね5mについて表土削り取りを行い、遊歩道平坦部には覆土を施しました。



空間線量率(結果)

高さ1mの平均値 (単位: μSv/h)	除染前 H29.10 ～H30.9	除染後 H29.10 ～H30.10	低減率
81箇所平均 (グリーンフィールド)	1.42	0.56	61%
234箇所平均(遊歩道中央部)	1.04	0.66	36%
586箇所平均(遊歩道両側)	1.31	0.96	27%

② 森林整備(平成29年～令和元年度実施)

スギ・ヒノキ人工林の間伐、アカマツ・コナラ天然林の更新伐等を実施しました。伐採木は一定の長さに切り揃え、森林内に分散残置しました。



森林整備の結果

- 表土の流出が抑制され、水源涵養機能、山地災害防止機能等の公益的機能の発揮も期待。
- 安全・安心・快適に散策できる森林空間に変化し、散策やランニングコースとしての利用も確認。
- 延べ524人の雇用が生まれ、林業活動の継続が図られた。

③ 線量測定(平成29年～令和元年度実施)

モデル地区内の空間線量率を毎年測定し、あわせて個人被ばく線量を測定しました。想定される利用形態(滞在時間83分)を設定し、1回の利用に伴う個人被ばく線量は、0.6 μSvでした。

モデル事業の効果

- 除染によって線量が低くなったことなどにより、住民の帰還に向けた環境づくりに寄与したと考えられる。
- 除染と森林整備を一体的に実施することにより、快適な森林空間を創出し里山の再生に寄与したと考えられる。

2) 里山再生モデル事業から『里山再生事業』へ

【対象】

- 住民が身近に利用してきた住居周辺の里山(森林公園・遊歩道・キャンプ場等)

【事業内容】

- ①除染②森林整備③線量測定の3つの構成事業のうち市町村の要望に応じ、2又は3事業を組み合わせ実施。
個々の事業地の実施期間は、概ね『3年間』とする

議員が切り込む!! 質疑応答

【里山再生事業】
 問 本当に山を復活させるには遊歩道等の除染のみならず腐葉土等の掻きだしによる除染も実施すべきと考える。(安藤正純)

答 復興庁
 広範囲の森林除染は土壌の流出や地力の低下が懸念され、根本的な取り組みにはまだ課題があるという認識です。

問 子どもたちが遊ぶような場所での事業を実施していた場合、このペースで何年かかるのか、考えは。(遠藤一善)

答 復興庁
 事業の効率化・合理化を図り、より短期間での事業実施に取り組みます。

問 一般の家庭の裏山などがこの事業で対象とならないのは問題である。(渡辺三男)

答 復興庁
 里山の定義、捉え方にもよりますが、要件を満たすと判断されれば対象になり得ます。

【令和2年8月12日開催】

◆富岡町健康増進センター再構築に係る検討状況について(健康づくり課)

<概要>

- エリアマネジメントの観点から、健康増進施設単体での事業化でなく、周辺施設との複合案件化も検討(運動施設・高齢者福祉等)
- 健康増進施設に必要な機能の検討状況について(例)温浴・宿泊・運動・物販・飲食・会合・情報・外構 など
- 利用者数試算(周辺施設利用者数との比較による目標値) 70,000人/年間



環境省による解体工事が進むリフレ富岡

議員が切り込む!! 質疑応答

【健康増進センター再構築】
 問 概算で年間どのぐらいのランニングコストがかかるのか。(安藤正純)

答 健康づくり課長
 整備する機能の絞り込みや規模の検討を実施しており、現時点においてお示しできません。ランニングコストの低減を念頭に検討を進めます。

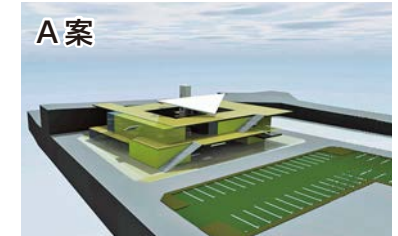
問 震災前のように駐車場から歩くのではなく、規模を縮小し、アクセスしやすい環境整備を。(安藤正純)

答 健康づくり課長
 施設規模は縮小で検討しており、駐車場、アクセスの観点からも検討を進めます。

【令和2年9月8日開催】

◆富岡駅前にぎわいづくりに係る経過報告(企画課)

- 富岡駅前整備のコンセプト 『災害への備えとにぎわいを併せ持つ複合空間』
- 災害への備え、にぎわい、美しい景観等の眺望、保留地の利活用 ⇒ 複合交流施設の整備へ
- 複合交流施設整備コンセプト
 「安心安全の場所づくり」「人が集まる場所づくり」「新たなチャレンジを応援する場所づくり」「海が見える原風景の場づくり」
- 施設イメージ図(現在、機能の配置や規模感について様々な面から検討を進めています)



※全て検討中のイメージ図です。

議員が切り込む!! 質疑応答

【富岡駅前にぎわいづくり】
 問 駅前の一等地の大半を町で取得するようなやり方ではなく、民間の力を大いに入れる考えを持つべきと考える。(渡辺三男)

答 企画課主幹
 商業区画の土地利用に関しては、ご意見をふまえて検討を深めます。

問 災害への備えとあるが、富岡駅前には津波被災地の為、難しいのでは。(堀本典明)

答 企画課主幹
 この施設の高さや構造を利用して避難経路を複数確保し、高台に逃げる避難経路として考えています。

復興へのあゆみ Step.18

富岡校自然体験学習

令和2年9月4日に町立富岡小学校では自然体験学習が開催されました。榎葉町の木戸川渓谷にて、自然と触れ合い、森の案内人の方々から様々な説明を受けました。コロナ禍での貴重な自然体験の機会となりました。



森の案内人より説明を受ける小学生

自然の中でいっぱい勉強したっぴ♪



令和2年度ダイヤモンド婚・金婚式表彰

新型コロナウイルス感染症予防対策により令和2年度敬老会は中止となりました。令和2年9月18日に町役場2階正庁においてダイヤモンド婚・金婚表彰を執り行い、プラチナ婚1組、ダイヤモンド婚6組、金婚40組のご夫婦が表彰されました。



ダイヤモンド婚受賞者の皆さん



金婚受賞者の皆さん

小中学校学習発表会

◆三春校学習発表会(令和2年10月24日開催)
『仲間とともに「ありがとう」を届けよう』のテーマで、幼稚園・小学校・中学校の子ども達による各種発表や、劇、合同のよさこいなどが披露されました。

三春校



仲間と共に届けた「ありがとう」

富岡校



Be together as one ~心を一につに~

◆第1回「永桜祭」(令和2年10月31日開催)
中学校の総合学習の発表や小浜風童太鼓、小学校の劇、合同のよさこいが披露され、昼食は鳥藤本店様のご厚意により「浜鶏ラーメン」が振る舞われ、みんなで楽しみました♪



ALPS処理水について徹底議論!!

◆丁寧かつ正確なALPS処理水説明を (安藤正純 議員)

Q 国及び東京電力によるALPS処理水の説明内容では一般市民の誤解を招きかねない。ALPS処理水に含まれる核種や通常運転時、事故後の比較内容等詳細なデータを広く正確に周知すべきと考える。

A トリチウムの情報が先行していると認識しており、処理水に含まれるそれ以外の核種に関する詳細情報について資料を作成し、より分かりやすく説明してまいります。(東京電力HD株)

◆注水停止による汚染水の発生を抑制する検討は (渡辺正道 議員)

Q 注水を停止しながら原子炉や落ちたデブリを管理することが出来れば、汚染水の発生量を抑制し、タンクの残量に余裕が持てるのではと考えるが、それらの可能性について検討しているのか。

A 現時点において、注水を停止する事により汚染水の量を減らすというところまでの検討はしていません。ご指摘のとおり、原子炉、デブリの冷却管理だけでなく、汚染水発生量低減にもつながる可能性もある為、今後、検討させていただきます。(東京電力HD株)

◆国の処分方針決定前に住民理解への努力を (渡辺三男 議員)

Q 国が方針を示す時期が迫っている中で、ホームページや廃炉資料館で詳細を説明しても一個人は理解が難しいと思う。トリチウム以外の核種や事故により発生した物質等について、どのように説明していくのか。

A 国の決定時期は不明ですが、国に対してもご指摘の説明はしています。引き続き廃炉資料館や動画等で分かりやすい説明に努めていくことが我々の立場であると認識しています。(東京電力HD株)

要望① 様々な状況を想定した注水停止試験の実施を



東京電力HD株

試験の結果を元に1週間、2週間と長期の温度変化を事前に想定、予測することで万が一のトラブル発生時の住民の安全安心の確保につながると考えるが。

シミュレーションを実施し、長期間の注水停止状況も想定、検討しています。注水の停止を管理することで廃炉等の作業を進めることができると認識しており、引き続き結果をしっかりと評価してまいります。



堀本典明議員

要望② 第二原発の使用済燃料取り出し工程について



遠藤一善議員

福島第二原子力発電所の廃炉に関する使用済燃料の取り出しについて、乾式キャスク及びプール保管とあるが取り出しは号機ごとか、それとも燃料ごとの年数経過、冷却状況で判断し、それぞれ実施するのか。

基本的に冷却されているものから取り出し、乾式キャスクへ保管します。乾式キャスク等の設置の進め方については、廃止措置計画の認可後、安全面の配慮などについて地元の説明をさせていただきます。



東京電力HD株

ちよととと

みなさまの声

Q. 富岡町の施設や生活環境についてどのように感じていますか。

A. 初めて富岡を訪れたとき、海風がとても気持ちいい町だなと思いました。3年暮らした今でも、日々そう感じています。町の変化を肌で感じ、それを富岡で知り合った人たちと分かち合えることが嬉しいです。

Q. お仕事（図書館や移動図書館）での今後の展望や感じた課題、目標などお考えを聞かせてください。

A. 図書館では、資料を使い、暮らしの疑問の解決や調べもののお手伝いをしています。再開館から2年半が経ち、その問い合わせは着実に増えてきました。町民の生活を便利に、より豊かにするために、資料の整理を進めることが課題です。

本年4月からは、2トントラックを改造した移動図書館車の運行が始まりました。県内6コース16ヶ所を巡回しています。それぞれの場所で生活のこと、ふるさとのことなど、話に花が咲きます。より多くの人に利用してもらうための工夫をためし、安心して過ごせる移動図書館を目指して活動を続けていきます。

Q. 富岡町の学校教育・生涯学習に必要なことはどんなことだと思いますか。また、今度どのように関わっていきたいと考えますか。

A. 大人も子どもも、何かに興味や疑問を持ったときに、次の行動に向かう活力が生まれるのではないかと考えています。本は生涯学習の扉を開く鍵です。図書館は皆さんにとって一番身近な生涯学習の拠点として、いつでも側に寄り添う存在でありたいと思います。

【お知らせ】

- ◆富岡町に関する資料（本、映像、チラシ等の刊行物）の収集にご協力ください。
- ◆調べもののご相談や本に関するお問い合わせはお気軽にどうぞ。



東山恵美さん

【経歴】

出身地：東京都羽村市 出身

- 明星大学
国際コミュニケーション学科卒
- 東京都青梅市中央図書館
- 東京都福生市立中央図書館
- 2018年4月より
富岡町文化交流センター学びの森
図書館で勤務



こども園でも大人気の移動図書館

議会を傍聴しませんか？

- 12月定例会は、16日(水)～18日(金)の会期で開催する予定です。
 - 所定の用紙に、住所・氏名・性別・年齢(○歳代)を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
 - 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
- 議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

今年、新型コロナウイルスから始まり、新型コロナウイルスで終わってしまう……そのような気がします。

桜まつり、麓山の火祭りや敬老会などの中止、さらにはそれぞれ皆さんが企画していたイベントも中止に追い込まれるなど、自粛生活を強いられるストレスを抱えていることと思います。しかし「夜明け前が一番暗い」というイギリスのことわざがあるように、苦しい時こそ、すぐ近くで光が待っています。表紙の子どもたちのように、一人ひとり輝く笑顔で力強く前に進んで行きましょう。

これからは、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザも気になる季節です。ぜひお体には十分ご留意ください。さいますようお祈り申し上げます。

(佐藤 教宏)

発行責任者

議長 高橋 実

議会報編集特別委員会

委員長 高野匠美

副委員長 佐藤啓憲

委員 佐藤教宏

委員 堀本典明

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

